

# 令和4年度第1回指定管理者候補者選定委員会 議事録（概要）

日時：令和4年(2022年)10月5日(水) 18:00～

場所：市役所8階大会議室

## 1 開会

(事務局)

- ・ これより、「令和4年度第1回函館市指定管理者候補者選定委員会」を開会する。
- ・ 本日は、委員7名中7名が出席しており、会議が成立することを報告する。
- ・ 会議は非公開で行う。ただし、出席した委員名は、選定結果とともに後日公表することとなる。また、議事録についても、発言した委員名が特定されない形で概要版を公開するので、あらかじめご承知おき願いたい。
- ・ それでは、以後、会議の進行は委員長にお願いする。

## 2 選定施設・選定方法等の確認

(委員長)

- ・ それでは、本日の選定施設や選定方法等について、事務局に説明を求めたい。

(事務局)

- ・ 本日の選定対象施設は、公募施設で複数の応募があった施設が「函館市旧イギリス領事館（開港記念館）」、「市立函館博物館郷土資料館（旧金森洋物店）」の2件、現指定管理者のみの応募があった施設が「函館市湯川老人福祉センター・函館市谷地頭老人福祉センター」、「函館市北洋資料館・函館市芸術ホール」、「函館市五稜郭観光駐車場」、「千代台公園体育施設等」の5件。合計7件である。
- ・ 公募施設の選定については、各委員の採点結果を集計し、その平均が最も高得点となった団体について、委員の合意により決定する「総合点数方式」としているが、既存施設のうち応募者が現指定管理者1団体のみの場合で、引き続き適正な管理が継続されると指定管理者候補者選定委員会において判断した場合、採点せずに可否を決める「採決方式」としている。
- ・ 審査にあたっては、応募者や所管部局に対しヒアリングすることを原則としているが、既存施設で応募者が現指定管理者1団体のみの場合、あらかじめ委員よりヒアリングの省略について同意を得ているため、ヒアリングを省略したい。
- ・ 説明は以上である。

(委員長)

- ・ 選定方法は、総合点数方式2施設、採決方式5施設。
- ・ また、ヒアリングの実施は、総合点数方式の2施設としたいが、よろしいか。

(選定委員)

- ・ 異議なし

(委員長)

- ・ では、審査および候補者の決定に移ることとする。

### 3 函館市旧イギリス領事館（開港記念館）の審査

(委員長)

- ・ それでは、函館市旧イギリス領事館（開港記念館）の審査を行う。
- ・ はじめに、「株式会社元町マリンハウス」（以下、「元町マリンハウス」という。）のヒアリングを行う。

(元町マリンハウス 入室)

(元町マリンハウスから応募内容についての説明後、質疑応答)

#### 【質疑応答の概要】

◆選定委員	◆ 事業計画書「市民の平等利用が確保され、市民サービスの向上が図られるか」の中に「障がい者の皆様や」とあるが、平等利用ということで、具体的にどのような障がい者を想定しているのか。また、「きめの細かい対応」とあるが、具体的にどのような対応を想定しているのか伺いたい。
◇元町マリンハウス	◇ 障がい者、年齢により体力の落ちた方などを全般に考慮した対応を考えている。 基本的に階段の多い建物で、現在は補助的に踏み台を入れ対応しており、車椅子の方など、乗り降りの困難な方に対しては、職員で車椅子を持って階段を上り、施設を案内しているが、人的な介護・補助しか出来ないため、常に職員や管理する人間が注意し、お客様とコミュニケーションをとり、お客様が依頼しやすい体制をPRし、対応したいと考える。
◆選定委員	◆ 事業計画書の中で、修学旅行生に対し「リーフレットを作成する」とあるが、どのようなスケジュールで作成するのか伺いたい。
◇元町マリンハウス	◇ スケジュールは、色々な外国の歴史を勉強している会があり、そういう方達に応援をいただきながら作っていきたいと考える。
◆選定委員	◆ 同じく事業計画書の中で、独自に館内での観光アンケート調査を行うと記載されており、その調査において問題抽出を行い改善していくとしているが、具体的に組織としてどういう手続で進めることを想定しているのか伺いたい。

◇元町マリンハウス	◇ 来年4月からアンケート調査を行い、来年中に内容を検討・確定し、再来年までに改善策を出し対応したいと考えている。 そのための勉強会を行うことも考えている。
◆選定委員	◆ 本社と当該施設の距離が一つの強みとしているが、それ以外で、継続することについて具体的にどのような強みがあると考えているか伺いたい。
◇元町マリンハウス	◇ 私含め、会社の事務スタッフはほぼ毎日当該施設に行っており、施設の特徴、1年間の動きに関しては誰よりも分かっており、当社の今までの経験を活かし、ソフト的なものを含め、お客様の求めていることに対応できるものと考えている。

(元町マリンハウス 退室)

(委員長)

- ・ それでは、次に「函館市旧イギリス領事館（開港記念館）施設活用プロジェクトチーム（以下、「施設活用プロジェクトチーム」という。）のヒアリングを行う。

(施設活用プロジェクトチーム 入室)

(施設活用プロジェクトチームから応募内容についての説明後、質疑応答)

**【質疑応答の概要】**

◆選定委員	◆ 事業計画書に「市民の平等利用が確保され、市民サービスの向上が図られるか」とあり、障がい者の平等利用も考えなくてはならないと考えるが、障がい者が平等利用するために何か考えがあれば伺いたい。  同じく事業計画書に「地元の語学学校などと連携し」とあるが、連携するための見通しを伺いたい。
◇施設活用プロジェクトチーム	◇ 1点目の平等利用について、ハンディキャップを負っている方々に対し、現在も料金の割引などはあると思うが、これだけではなく、付き添いという形でスタッフが一緒に介助を手伝うことが必要と考える。建物の改修は難しいため、人の手によって手伝うことができるのであれば、進んでお手伝いしようと考えている。  2点目の語学学校との連携に関し、具体的にどこの学校かまでは決まっておらず、今後連携を深めていかなければならない。  イギリスの方が作るお菓子作りのワークショップ等を開き、ど

<p>◆選定委員</p>	<p>この国の人などと対象を絞るのではなく、多国籍の方に参加していただくような形で連携していければと考えている。</p> <p>◆ 事業計画書に「美瑛町の道の駅では観光再生事業を成功させるなど」と記載があるが、具体的に成功を裏付ける実績を教えてください。</p>
<p>◇施設活用プロジェクトチーム</p>	<p>◇ 今から5年前、美瑛町が改めて青い池を観光地として広めていきたいという考えの中で、アウトドアウェアの衣料品と飲食店を運営出来る企業を探していた。そこで弊社に声が掛かり、美瑛町と一緒に取り組みながら、北海道で初めてとなるキャンピングカーサイトを併設した「白金ビルケ」という道の駅を作った。その中で、アウトドアウェアブランドをフランチャイズ展開し、青い池に来る観光客、十勝岳に登山に来る方に衣料品を提供し、地元ならではの山の情報を発信。飲食店は地場の食材を使ったハンバーガーショップを運営し、テイクアウトスタイルで、店舗前の芝生のコーナーで飲食してもらい、公園を楽しんでいただくというプロジェクトで活性化を図った。</p> <p>成功というのは我々だけではなく、そこに住む方、関連業者も含め、その方々も経済が潤うことで成功と思っている。</p>
<p>◆選定委員</p>	<p>◆ 事業計画書「雇用の安定と雇用環境の向上が図られるか」に対し、雇用環境の向上はどのようにして図ることができるのか伺いたい。</p>
<p>◇施設活用プロジェクトチーム</p>	<p>◇ 飲食店や小売店などは、一人当たりの生産性を高めるため、労働時間などに無理が生じてしまうことがあるが、当社は労働時間に関しても法定基準内で必ず終わらせる。コロナ禍の時には急な欠勤などの対応でオペレーションに無理があったかもしれないが、総じて身体を壊すような働き方はさせていない。</p> <p>当該施設においても同じように無理のかからない環境を継続して取り組み、更に円滑なワークライフバランスの向上を図りたいと考えている。</p>

<p>◆選定委員</p> <p>◇施設活用プロジェクトチーム</p>	<p>◆ 独自に行われたアンケート調査では、7割は当該施設に来たことがない。そこで、観光客だけではなく、市民の利用も積極的に呼び込みたいとのことだが、より足を運んでもらうための宣伝、仕掛けなど、どのように実践していこうと考えているのか伺いたい。</p> <p>◇ 弊社でもSNSの活用が効果を上げているため、当該施設においてもSNSを立ち上げ、函館市内を含め情報発信を頻繁に行っていきたいと考えている。また、市内の媒体含め、プレスリリース等をこまめに行いながらイベントを周知し、集客につなげ、一つ一つのイベントに楽しい思い出を提供出来るようなイベント内容にしたいと考えている。</p>
<p>◆選定委員</p> <p>◇施設活用プロジェクトチーム</p>	<p>◆ 現在、障がい者の方を1名雇用されているとのことだが、その方に対する合理的配慮としてどのようなことをされているのか。また、今後、障がい者雇用に関してどのような考えか伺いたい。</p> <p>◇ 現在、精神的な病を患った従業員を雇用しているが、他の従業員には、その情報を伏せることなく公開し、何かあったときには手を貸してもらえるよう共有し、シフトなども柔軟性、弾力性を持って取り組んでいることは、その従業員にとって合理的な話であるとする。</p> <p>その従業員は現在休職中だが、経済的な合理性にあたることで、復帰を願っており、解雇しないということは守っている。これからもハンディキャップを持っている方からの応募があると思うが、そのような方から応募があった際には、偏見を持つことなく、他の方と同じように接することができればと考えている。</p>
<p>◆選定委員</p> <p>◇施設活用プロジェクトチーム</p>	<p>◆ 仮に指定管理者となり運営された場合、具体的に何が、どこが、どのように良くなるとお考えか。</p> <p>◇ 私たちは、旧北海道庁函館支庁庁舎の利活用プロジェクトを行っており、その建物の2階に100年前の函館市全景写真を飾り、これを見たお客様からは「凄い、このような街があったのか」など、様々な評価をいただいている。このように、私たちは新たなお客様を開拓し、来られたお客様に触れていただける機会を提供することができます。</p>

	<p>私たちの強みとして、BtoBではなく、BtoCの商売を行ってきたため、お客様にどう伝えるか、リーチするための策が豊富にあり、お客様にリーチ出来る環境、ノウハウがあることは来客数の増加だけではなく、函館の歴史に触れるためのきっかけをどう作っていくかの増加に繋がると考えている。</p>
--	--

(施設活用プロジェクトチーム 退室)

#### 4 函館市旧イギリス領事館（開港記念館）の採点

(委員長)

- ・ 応募団体へのヒアリングが終了したが、所管部局にヒアリングする事項はあるか。

(選定委員)

- ・ なし

(委員長)

- ・ それでは、採点を実施する。

(各委員「採点」)

(委員長)

- ・ それでは、後ほど事務局で集計した採点結果をもとに候補者の決定をすることとし、次の審査に移る。

#### 5 市立函館博物館郷土資料館（旧金森洋物店）の審査

(委員長)

- ・ 次に、市立函館博物館郷土資料館（旧金森洋物店）の審査を行う。
- ・ 始めに、「合資会社水引アート工房清雅舎」（以下、「水引アート」という。）のヒアリングを行う。

(水引アート 入室)

(水引アートから応募内容についての説明後、質疑応答)

##### 【質疑応答の概要】

◆選定委員	◆ コロナの影響で入館者が落ち込んでいるが、今後ウイズコロナの中で新しい形を模索することになると思うが、国内客さらに外国人の方など、函館の歴史などに興味がある方もいると思います。そのような方々に対し函館の良さをPRするために、今後何か新たな展開を考えているか伺いたい。
◇水引アート	◇ 旅行者や外国人の方々に働きかけを行いたいと考えている。
◆選定委員	◆ 現在、ブログやインターネットを使い、不特定多数の方に向け

<p>◇水引アート</p> <p>◆選定委員</p> <p>◇水引アート</p>	<p>郷土資料館の良さなどのPRを行っているか。</p> <p>◇ フェイスブックやホームページを使い、イベント開催の告知などを行っている。</p> <p>◆ 外国人の方へ向けた情報発信は行っているか。</p> <p>◇ 現在は日本語ですが、今後考えていきたい。</p>
<p>◆選定委員</p> <p>◇水引アート</p> <p>◆選定委員</p> <p>◇水引アート</p>	<p>◆ 利用者を増やすためあらゆる努力をと話されており、所管部局ヒアリングの中で、社会教育施設であるため自主事業に力を入れ、リピーターを増やすなどの努力をしていくという考えが述べられていたが、具体的に自主事業をとおして、どのように力を入れることでリピーターが増えていくのか伺いたい。</p> <p>◇ もっと市民に郷土資料館のことを知っていただきたいと思っている。そのために、市民に関わっていただけるような展示やイベントを具体的に考えている。</p> <p>パネル展示では、6月の「路面電車の日」に関連展示を行い、興味がある方が来館されている。このようなことを積み重ね、地道に市民の方に足を運んでいただける取り組みを展開していきたい。</p> <p>◆ 次も指定管理者として選ばれた場合、継続するということの強みをどのように捉えられているか伺いたい。</p> <p>◇ 弊社の強みはスタッフが皆説明に長けていること。スタッフのうち2人は函館のボランティアガイドであり、その点は大変強みだと思う。ただ、コロナの影響で説明時間の短縮や説明を受けたくないお客様もいるので、お客様の心情に寄り添い、楽しんでいただき、来館して良かったと思っていただけるような取り組みを日々考え実行している。</p>
<p>◆選定委員</p>	<p>◆ 収支計画書において収入欄の自主事業利益がゼロとなっているが、自主事業で利益を出すことを考えていないのか。また、施設の管理運営上問題はないのか伺いたい。</p>

◇水引アート	◇ 利益を出したいと思うが、コロナでイベントが開催できないなど厳しい状況である。今はマイナスにならないかという考えでいる。
◆選定委員	◆ 利益が出なくても運営上問題ないという見込みか。
◇水引アート	◇ そうです。

(水引アート 退室)

(委員長)

- ・ それでは、次に「株式会社新函館ライブラリ」(以下、「新函館ライブラリ」という。)へヒアリングを行う。

(新函館ライブラリ 入室)

(新函館ライブラリから応募内容についての説明後、質疑応答)

**【質疑応答の概要】**

◆選定委員	◆ 過去3期分の決算書について、每期計上している役員報酬が未払いの状態になっているが、理由を伺いたい。
◇新函館ライブラリ	◇ 元々出版は儲からないと思っていた。役員報酬はなくてもよいという覚悟で、最初から売上よりもやりたいものだけを出版しようという形で会社を始めた。
◆選定委員	◆ 2021年8月決算で、貸借対照表の資産に計上されている商品在庫の額と、損益計算書にある売上原価の期末商品棚卸高と金額が一致していないが、決算書はどちらかの会社に依頼し作成しているのか。
◇新函館ライブラリ	◇ 会計ソフトを使い作成しているが、意味を理解しておらず、確認が出来ていなかった。
◆選定委員	◆ 事業計画書「地域活動との関わりや地域に対する貢献が図られるか」に対し、「市内小中高生を対象とした学習会や、市内大学生との共同イベント等を開催し」とあるが、小中高生を対象とした学習会を行う見通しについて伺いたい。 加えて、大学生との共同イベントとはどのようなイメージを持っているか伺いたい。



◇新函館ライブラリ	<p>◇ 具体的にというのではないが、今は大掛かりなものは出来ないと思っている。</p> <p>小中高生を対象とした学習会は肩肘張らないような、代々商店をされていた年配の方から昔の話を聞くようなところから始め、徐々に組織的なものに持って行きたいと考えている。</p> <p>大学生との共同イベントについても、未経験のためいきなり大々的には出来ないが、学生のネットワークなどを利用しながら、一つずつファンを作り、徐々に固まったものにしていきたいと考えている。</p>
<p>◆選定委員</p> <p>◇新函館ライブラリ</p> <p>◆選定委員</p> <p>◇新函館ライブラリ</p>	<p>◆ 指定管理者となった時の人員体制について、社長はサポート要員として非常勤的に支える形だと思うが、その他の3名は地元雇用を考えているということだが、雇用の目星はついているのか。</p> <p>◇ 目星は付いている。</p> <p>◆ 歴史や接客などの経験ある方を確保しているということか。</p> <p>◇ そうです。3名はボランティアガイドをしている方で、そのうち1名は当該施設の近くに住んでおり、私が緊急事態に対応できない時には、その方に対応してもらおうことを考えている。</p>
<p>◆選定委員</p> <p>◇新函館ライブラリ</p> <p>◆選定委員</p>	<p>◆ 賃金水準について、正規職員1名と非正規職員3名体制で想定されているが、時給ベースでは全員同じ金額になっている。そうすると責任体制が見えてこないため、この人員体制の中で責任体制をどのように構想されているのか伺いたい。</p> <p>◇ 責任ある人にはその分を支払うべきだと思うが、現状、まだどうなるか分からないため互選という形で記載し、平等に見せている。</p> <p>◆ 先ほどの説明では、アンケート調査で様々な写真入りのカードを配布し、来館者の興味あるものなどを読み取るということだが、逆に内向けに運営上で苦情が発生した場合、具体的にどのように苦情を受け取り、どのような手続で処理し、どう対応していくかについての具体的な想定を伺いたい。</p>

◇新函館ライブラリ	◇ 臨時的なものは私に対応する。苦情の内容によるが、どのように進めるかについてはまだ決めておらず、経験者や博物館の方に相談してから決めたいと考えている。苦情処理に関しては、とにかく迅速に、状況に即した自分の言葉で対応していきたい。
◆選定委員	◆ 選ばれた段階から具現化していこうと、そういう想定か。
◇新函館ライブラリ	◇ 半年もあればできると考えている。

(新函館ライブラリ 退室)

## 6 市立函館博物館郷土資料館（旧金森洋物店）の採点

(委員長)

- ・ 応募団体へのヒアリングが終了したが、所管部局にヒアリングする事項はあるか。

(選定委員)

- ・ なし

(委員長)

- ・ それでは、採点を実施する。

(各委員「採点」)

(委員長)

- ・ それでは、後ほど事務局で集計した採点結果をもとに候補者の決定をすることとし、次に現指定管理者のみの応募があった公募5施設の候補者の決定に移る。

## 7 公募5施設（現指定管理者のみの応募）の候補者の決定

施設名	申請団体
函館市湯川老人福祉センター 函館市谷地頭老人福祉センター	セントラル警備株式会社
函館市五稜郭観光駐車場	セントラル警備株式会社
函館市恵山海浜公園	恵山地域振興推進協会
函館市北洋資料館 函館市芸術ホール	公益財団法人 函館市文化・スポーツ振興財団
千代台公園野球場，千代台公園陸上競技場，千代台公園庭球場，千代台公園，函館市民プール	公益財団法人 函館市文化・スポーツ振興財団

(委員長)

- ・ 次に、公募施設のうち既存施設で、応募者が現指定管理者 1 団体のみの 5 施設について、審査表をご確認いただきたい。
- ・ 審査表の委員から出された意見について内容を確認する。
- ・ 「老人福祉センター」では、そもそも老人福祉センター事業は、高齢者の福利厚生を図ることを目的とした事業であるが、より利用者の福利厚生を高めるための自主事業が展開されてもいいのではないかと。収益を上げ、それを利用者に還元していくような取り組みがあってもいいのではないかと。自主事業の主体的な取り組みの検討が今後の課題として考えられるという意見がでていいる。
- ・ 「恵山海浜公園」では、北海道の最低賃金が令和 4 年 10 月 2 日から 920 円に上がっているため、事業実施にあたっては法令を遵守していただきたい。
- ・ 同じく、自主事業において「道の駅のグッズ販売により来園者の満足度の向上を図ること」と提案されているが、効果がどの程度見込まれるのかが不明である。また、市が実施している施設の空きスペースを活用した物販・飲食の提供を行う賑わい創出事業の検証結果を踏まえ「必要に応じて検討」とあり、コロナ禍で大変な時期ではあるが主体的な自主事業の検討が今後の課題として考えられる。
- ・ 同じく、施設の利用促進に関する業務において「イベントスペースの利用促進」が提案されているが、施設のイベント等の取り組みや施設の機能等に関して、函館市全域および他地域に発信していく取り組みが見えてこないため、外部に対する情報発信が課題として考えられる。
- ・ 同じく、令和 3 年度において、屋上の利用実績がゼロとなっているので、新たな施設の利用促進策を検討していただきたい。
- ・ 同じく、実際に施設を訪問し目にした状況から、施設の管理が行き届いているようには感じず、施設の設置目的に該当するとは思えなかったということで、選定の可否に 1 件反対の意見が出た。
- ・ 以上の 2 施設に対する意見について、各委員から何か意見はあるか。

(選定委員)

- ・ なし

(委員長)

- ・ 先に、恵山海浜公園を除いた 4 施設について、記載のとおり、それぞれの団体を指定管理者候補者として選定することに異議はないか。

(選定委員)

- ・ なし

(委員長)

- ・ それでは、記載のとおり対象 4 施設の各応募団体を指定管理者候補者として選定する。
- ・ 続いて、恵山海浜公園の審議に入る。
- ・ 各委員から提出された当該施設の選定の可否については、賛成の数が反対の数を上回っ

たので、「恵山地域振興推進協会」を指定管理者候補者として選定することに異議はないか。

(選定委員)

- ・ なし

(委員長)

- ・ それでは、異議がないので、「恵山地域振興推進協会」を指定管理者候補者として選定することとする。
- ・ なお、「恵山地域振興推進協会」に対しては、選定に対する反対や複数の意見が出されており、会議録は後日公表されるが、別途「恵山地域振興推進協会」に対し、選定委員会の意見として申し伝える形を取りたいと思うが、よろしいか。

(選定委員)

- ・ 異議なし

## 8 函館市旧イギリス領事館（開港記念館）・ 市立函館博物館郷土資料館（旧金森洋物店）の候補者の決定

(委員長)

- ・ 最後に「函館市旧イギリス領事館（開港記念館）」、「市立函館博物館郷土資料館（旧金森洋物店）」の指定管理者候補者を選定する。
- ・ それでは、事務局で集計した採点表をご確認いただきたい。
- ・ まず、「函館市旧イギリス領事館（開港記念館）」の指定管理者候補者を選定する。
- ・ それぞれの応募団体の平均点については、「株式会社元町マリンハウス」が191点、「函館市旧イギリス領事館（開港記念館）施設活用プロジェクトチーム」が205点で、平均点の高い「函館市旧イギリス領事館（開港記念館）施設活用プロジェクトチーム」を指定管理者候補者として選定することに異議はないか。

(選定委員)

- ・ 異議なし

(委員長)

- ・ それでは、異議がないので、「函館市旧イギリス領事館（開港記念館）施設活用プロジェクトチーム」を指定管理者候補者として選定することとする。

(委員長)

- ・ 次に、「市立函館博物館郷土資料館（旧金森洋物店）」の指定管理者候補者を選定する。
- ・ それぞれの応募団体の平均点については、「合資会社水引アート工房清雅舎」が402点、「株式会社新函館ライブラリ」が382点で、平均点の高い「合資会社水引アート工房清雅舎」を指定管理者候補者として選定することに異議はないか。

(選定委員)

- ・ 異議なし

(委員長)

- それでは、異議がないので、「合資会社水引アート工房清雅舎」を指定管理者候補者として選定することとする。
- 以上で、本日の選定委員会を閉会する。